

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター向島あづみ		
○保護者評価実施期間	2024年12月3日		～ 2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58世帯	(回答者数) 55世帯
○従業者評価実施期間	2024年12月3日		～ 2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・他種職の職員がいることで、専門的視点での利用者の分析が出来ること。	・専門職による分析結果を基にチームで支援会議を行い、個人の強みや課題について話し合い、支援内容を考えて共有して取り組んでいる。	・互いのスキル向上に向けて、研修参加への促し。
2	・家族支援として、ペアトレーニングの実施をしていること	・ペアトレ参加は個別参加かグループ参加を保護者の方に選択してもらい参加しやすいようにしている。 お子さんと一緒に参加してもらうことで、その日に学習したことは、実践してもらい、般化できるように工夫している。	・複数の職員がペアトレに参加し、携わっているようにしていく
3	・地域資源が充実していること 例：絵本の読み聞かせ(1回/月) 演奏会(ハンドベル・バイオリン)1回/年 ・図書館の活用 ・交通安全教室1回/年	・利用児の特性や発達年齢を事前に連携し、発達段階や季節に合った内容の選択をしてもらうようにしている。 ・公共施設を利用するにあたり、マナーや交通ルールの取り組みを行っている。	・事業所の行事へ地域の方々を招待し、交流をすることで、事業所の周知を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方への共通理解の難しさ	・保護者の方の受容の難しさ ・保護者の方の理解度	・なぜ、その支援が必要なのか根拠を伝え、そのために有効な支援を伝えるように取り組む。 ・視覚的ツールの活用
2	・環境的に夏は暑く、冬は寒く、室温調整が難しい。	・施設の老朽化 ・外廊下 ・死角が多い	・遮光ネット等の設置 ・建て替えの検討
3	・定型発達の子どもの集団での様子の難しさ。 →就学後の必要なスキルの定着への配慮	・学習面では保護者の方に伝えているが、社会のルール 例：傘をさして歩く(安全面)	・活動プログラムに入れること。また、保護者の方にも周知すること

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター向島あづみ

公表日 R7年2月14日

利用児童数5 R6年12月3日から

8世帯 R6年12月25日

回収数 55枚

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	85	10	2	3	・安全面も考慮されていて、色々な活動ができています。と思います。 ・まあ大丈夫かな。くらいのスペース。 ・十分だと思います。 ・とても広くて体を動かすには良いと思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	79	16	0	5	・送迎バスが一人の添乗の時は大変そうだと思います。 ・先生たちを多く配置していただき、十分に目が届いていると思います。 ・子どもの声や表情などをいつもよく見てもらっていて、手厚いと感じています。	・ハイエースの添乗は基本は2人体制。10人以下、また布団等の荷物が少ない日には1人の添乗で行く。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	70	18	5	7	・イラストなど色々な工夫がされていると思います。 ・建物自体が古いので、車いすのお子さんが居たら気になる所はいくつかある。おそらくその時はその場にセッティングされるのだと思います。 ・クラスからのトイレ・手洗い場など導線がわかりやすい環境だと思います。	・バリアフリーにはなっていないが、障害者用トイレやエレベーターは設置している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	83	12	0	5	・いつもきれいにされていると思う。 ・2階のコウモリの糞が気になります。 ・少し暗いと思います。 ・きれいで、過ごしやすそうだと思います。 ・先生がよく掃除をされていると思うのできれいだと思います。 ・子ども達の活動に合っている空間だと思います。	・朝の掃除時間に掃く。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93	2	0	5	・相談するとすぐに対応していただいています。 ・それぞれの先生が一人一人のお子さんに対してその子の性格や好きなことを十分に理解してくれてたくさん褒めて伸ばしてくれています。 ・個性や好き嫌い、こだわりに合わせて対応して頂いていると思います。 ・その子に合った声掛けをしているように感じない。 ・専門的な支援が受けられていると日々感じています。 ・特性でクラス分けをしている。	・声掛けだけでなく、視覚提示などその子に合ったやり方を考える。 ・同じような支援をクラス全体で出来るように、クラス内で支援などについて話合う機会をしっかりと取りたい。 ・気になった事（子どもの実態について）があればクラスを越えて話が出来ればと思う。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	85	2	0	13	・細かく見てもらっていると思います。 ・具体的な内容で、わかりやすく書いてくださっています。 ・合っていると思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	91	5	0	4	・しっかりと親からも我が子の事をき取ってくれ、に必要な支援を考えてくださっていると思います。 ・その時に合った支援計画をしてくださっていますが、課題が出てくる頻度も多いので、もう少し期間が短くてもいいのかなと思います。 ・保護者のニーズや課題に沿ってくださっているように感じますが、子どものことを客観的に分析されているように感じない。 ・的確に客観視して分析されていると思います。	・子どもに応じて、成長し課題が変わったら支援計画の見直しもしていく必要がある。 ・その支援を行う根拠を説明する。 ・伝え方を工夫していく必要がある。（わかりやすくかみ砕いて）
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	86	4	0	10		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	91	2	0	7	・困り感など、少しずつ改善されていると思います。 ・園生活で行われているかは不明です。 ・行われていると思います。 ・課題の為に先生方がうごいてくださっている。	・丁寧に伝えていく必要がある。 ・いつでも見に来ていただけることを伝えていく。 →参観週間などを設けていきたい。
10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	75	8	0	17	・色々なカリキュラムを取り入れていると思います。	・今後もクラス便り等を活用し、保護者の方にも伝えていく	

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	54	18	9	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併行利用しているのでよく関わっています。</li> <li>・他の園や地域のお子さんとの関わりがほとんどありません。</li> <li>・保育園では他の子どもと接していますが、地域ではほとんどありません。</li> <li>・公園や施設、友人などで交流はあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会・運動会の見学に行く。</li> <li>・あつみの森事業所の行事に参加させてもらえたらいいな</li> <li>・地域の子も達を招いた遊び場で、交流する機会を設けることが出来れば</li> <li>・いくことは出来るが、「交流」という面では難しさが残る。</li> </ul>
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	90	7	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありました。</li> </ul>	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	98	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明はありました。</li> <li>・とても丁寧にしていただけます。</li> </ul>	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	95	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか参加は出来ていませんが、行われていると思います。</li> <li>・個別の時間に10分でもペアトレが出来ると良いですね。</li> <li>・今年度、ペアトレに参加させていただきましたが、先生方がわかりやすく面白い内容にしてくださっているので、とても良かったです。</li> <li>・ペアトレはとても勉強になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ペアトレのニーズを聞く</li> </ul>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	85	12	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家では見ることのない園での自分の子どものことを色々教えてくださり、私自身も子どものことを色々知ることが出来ました。</li> <li>・連絡帳でその日の様子を教えていただけたり、話す言葉が聞き取りにくくてもよく聞いてくださっています。</li> <li>・担任以外の先生や事務員さん・園長先生まで子どものことを把握してくださり、変化に気づいてもらっています。</li> <li>・バス送迎の為、担任の先生と直接話せる機会は少ないです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳に具体的に様子を書いていきたい。</li> <li>・保護者の方が園に来てくださるタイミングで担任と話が出来る事を知らせていく。</li> <li>・「共通理解が出来ていない」という点で、伝え方に工夫が必要ではないか。</li> </ul>
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の際にも最近の様子や困り事は聞いてくださると聞いてくれお話をさせていただいています。</li> <li>・子育て中の先生の意見を聞いたり専門的な助言をいただける先生もいます。</li> <li>・とりあえず連絡や参観の時に聞いている。</li> <li>・悩んでいることがあると、すぐに対処方法を考えさせていただきます。</li> </ul>	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	89	4	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長先生・担当の先生・事務員・調理員の方まで、全体的に支援を受けていると思います。</li> </ul>	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	57	12	9	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り・運動会など一緒に参加できるのですてきだと思います。</li> <li>・兄弟で参加したいが、人数制限をされ参加できないこともあった。</li> <li>・親子活動が月1回あればありがたいです。</li> <li>・他の親御さんとのコミュニケーションの場になるので。</li> <li>・保護者同士の交流の場は多いですが、兄弟同士はあまりないです。</li> <li>・親子活動があったりするので、交流機会はある方とおもいます。</li> <li>・同じ悩みの保護者の方と話しをすると、とても気持ちが楽になるので交流会はともうほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだい児と触れ合える兄弟児向けのイベントを検討する。</li> <li>・人数制限の理由の明記。</li> <li>・保護者の悩みとして、兄弟間の事が多く上がることある。兄弟間の関わりや対応について知ることが出来るような機会を検討していく。</li> </ul>
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	84	2	0	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切だとおもいます。</li> <li>・睡眠障害や自傷障害がひどいときに臨時で個別相談をして頂きました。</li> <li>・連絡帳に心配事など書くこととすぐに対応策や園でも対応していただけます。</li> </ul>	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	81	12	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐ配慮してくださっていると思います。</li> </ul>	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	78	12	0	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コドモンのアプリとてもありがたいです。給食内容のわかるのでたすかります。</li> <li>・クラス便りなどありますし、発信されているとおもいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園便り等を活用し、保護者の方にも周知していく</li> </ul>
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91	2	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部のことはわかりません。</li> </ul>		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	81	1	0	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯マニュアルは知らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園便り等を活用し、保護者の方にも周知していく</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88	5	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練の日に登園していれば参加していると思います。</li> <li>・とても頻りに避難訓練されています。安心できます。</li> </ul>	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	84	0	0	16		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	69	3	0	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても丁寧に連絡をくれる</li> </ul>	

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	91	4	0	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着ける場所になっていると思います。</li> <li>・その日にあった事、した事を色々子どもが教えてくれます。楽しいと言ってくれる日が増えてうれしく思います。</li> <li>・安心感ではなく楽しみにはしています。</li> <li>・毎日、自分で玄関まで行って待っています。</li> <li>・「いきたくない」と言っても先生の顔を見ると、すんなり行くので安心しているのだと思った。</li> </ul>	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	88	10	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しみにしています。</li> <li>・イチョウの葉っぱ・虫・クリスマス会など楽しみにしています。</li> <li>・いつもバスにニコニコで乗っていらいます。</li> <li>・子どもから「園に行く」と嬉しそうに言ってくれます。土曜日でも「園ある？」と聞いてきます。</li> <li>・毎日行きたがる。</li> <li>・気分が変わる。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	86	9	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも子供たちを守ってくれ、親の心の支えにもなり本当にありがとうございます。</li> <li>・発達検査の数値に反映されていませんが、伸びているところもあります。</li> <li>・こちらの通園を決めて良かったと夫婦で言っています。</li> <li>・半年強でだいぶ成長出来ました。ありがとうございます。</li> <li>・とても満足している。</li> </ul>	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター向島あづみ				公表日	R7 年 2月 14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	92	8	・スペースは適当であると思われる。 ・プレイルームや園庭など子どもが発散できる場を設け環境を工夫している。 ・活動に合わせて色々な部屋が使用できるようになっている。 ・活動によってはクラスを分けたり等、工夫していると思う。	・人数が多くグループが大きくなり子どもが窮屈そうなときはグループ分けをする。 ・プレイルーム・園庭を活用する。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	92	8	・放デイ職員にヘルプに入ってもらうことでカバーすることはできている。 ・職員数は十分確保されていると思う。 ・状況を見て、変更する等、適切に配置されていると思う。	・放デイ職員にヘルプに入ってもらうことでカバーすることはできている。 ・配置基準は満たしているが、子ども達の特性と丁寧な支援のためには人員は必要かと思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75	25	・ドアの前に傾斜版を取り付けている。 ・子どもにわかりやすく伝えるために物の配置の工夫をしている。 ・個々にマークを用いて自分の椅子、ロッカー等明確にしている。 ・構造化については職員同士で勉強した。カゴなどを使用し工夫している。	・柵を越えて園外に出ようとする子がいるので、柵をもう少し高くすると安心できるのではないかと。 ・洋式トイレが子どもの身長に合っていない所がある。→踏み台・小児用の補助便座の活用 ・子どもの目の高さになるものが置かれている部屋がある。 →掃除時間に片づけるようにする。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83	17	・毎朝夕、職員全員で清掃を行ったり、玩具等の消毒を実施している。 ・活動によって部屋を設けており、行動の切り替えが出来るように工夫している。 ・実態に合わせて工夫はされていると思う。	・男子トイレに故障があり、使用禁止になっている。 ・部屋での活動時に机が出ているままになるなど、広さの確保が出来ていないことがある。 →大人の配慮で改善していくことが出来る点だと考えられる	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	92	8	・パーティションで区切る、個別の部屋を用意する等は出来ている。 ・集団への不安が強い子には、個別に対応している。	・子ども自身の発信で入るという選択肢自体は全員に出来ていないため、伝えていくことは必要だと思う。 ・体調不良の子ども看護室の確保の難しさがある。 →カムタウンの部屋・空間を子どもと職員に周知する。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100	0	・適宜、実態交流を実施し子どもの実態把握や目標設定などを行っている。 ・振り返りを意識して取り組んでいる。 ・事前に活動内容が子どもに合っているか、どのように動けばよいか等、話し合うことが出来ている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	・評価を行い、内容を確認している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	・会議や実態交流の中だけではなく、職員同士で話をする機会が多く意見を出し合いながら支援を行うことが出来ている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80	20		事業所評価で、第三者参画を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	・外部講師の方を招いて対面やウェブ上での研修を受けている。 ・外部研修に参加した職員からの報告を聞く機会が設けられている。 ・毎月、職員研修を設けている。		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0	・職員で共有し、している。	作成して、県に提出している。 ホームページでも公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100	0	・日々の子どもの様子や家庭での様子などを総合的に見たうえで話し合い、支援を考えている。 ・モニタリングで保護者の意向確認をし、ガイドラインに沿って、計画を立てている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	・支援会議を開き、子どもに関わっている職員が参加している。 ・その子に関わる職員が話し合う場が設けられている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0		・必要に応じて会議等で共有して行くようにする必要があると思われる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0	・検査を実施してその結果を基に、支援内容を検討している。 ・集団療育の中で行動観察を行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0	・ガイドラインに沿って計画を立てて支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75	25	・集団療育は保育担当、個別療育は専門職が計画立案しているが、適宜意見交換は行っている。	・リーダーが主となっている。 ・事前事後のミーティングを設ける。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	92	8	・その日の活動について、担任で連携している。 ・活動の流れやねらい、この支援等について打ち合わせを行っており、共通認識をもって、子どもに関わることが、出来ている。	月に1回の実態交流で共通認識をしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83	17	・降園後にその日の活動や子どもの様子について共有している。 ・行事等の際は会議の場を設け、気づきなどを共有している。 活動中での気づきはリーダーに伝えようとしている。	・職員全員で振り返りをするのは難しいときがある。 ・掃除や業務をしながら話すことが多い。 →振り返りが出来る時間をとる工夫を考えていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	・集団療育の記録・個別療育の記録をとっている。 ・日々の起こった出来事、トラブルになったことについても記録をとる様になっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0	・定期的にモニタリングを行い、保護者のニーズや支援内容についても見直しを行っている。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0	・関わっている職員が参画している。		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	92	8		連携が出来ている。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	92	8	・小学校・こども園に出向いたり、来園して頂き、支援内容の情報共有と相互理解を行っている。 ・CF等の場で、お互いの園での様子、対応等、話すことが出来ていると思う。	・連携は行っているが十分とは言えないと思う。 →課題が出てきたときには連携に出向いているが、その他は連行していない現状がある。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0	・小学校に向いている。 ・教科書選択の際には情報共有を行っている	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	90	10	・市内の事業への参加として、ペアレントメンターの派遣をしている。 ・市内のこども園等から助言の要請があったときは出向き、助言等を行っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100	0	・研修に参加したり、外部から作業療法士等に来ていただきアドバイスを受けている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	89	11	・事業所で一人は参加するようにしている。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	89	・併行利用児はかかわりを持っている。	・毎日利用児は地域の子ども達との交流は行っていない。 →地域行事に参加する。公民館祭りなど(チラシなどがあれば配布する)
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	82	18	・日々の連絡帳を活用したり、親子活動や個別指導の中で、共通認識ができるように努めている。 ・送迎時や連絡帳を通して、家庭で様子園での様子を伝えあっている。	・伝えるように心がけているが、共通理解が持てているかについてはわからない。 ・送迎等で会える保護者の方には伝えていますが、送迎バスの利用児で併行先を拠点としている園児は難しい。 ・連絡帳に十分に書ける時間をとることも難しい。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	91	9	・ペアレントトレーニングの機会を設けている ・就学に向けての研修やOBの保護者の方の話聞くことが出来る機会を設けている。	・ペアトレが必要と思われる保護者の参加が難しい。 親子活動の前にペアトレを行うことで敷居が低くなるのでは。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	92	8		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	83	17	・保護者に対しては行っている。児発の子どもに対しては出ていない。	・年齢的には難しいところではあるが、意思の尊重というところでは何らかの方法で尋ねていくことは必要であると思われる。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	92	8		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	92	8	・日々の連絡帳や個別指導の時にけたり時間を設けて対応するように取り組んでいる。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	70	30	・保護者会はないが、親子活動やペアトレの場で保護者同士の交流の機会を設けている。 ・兄弟が参加できる行事を設けている。	・きょうだい向けのイベントなどの検討をしてもよいのか →きょうだい児と保護者が1対1で遊べるレクレーションを行う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	92	8	・日程調整を行い対応できるようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	92	8	・定期的に園便り・クラス便りを発行している ・メールを活用し、行事への参加を促している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	92	8	・十分に留意している。 ・研修を受けている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	92	8		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	36	64	・地域資源を活用しており、園への訪問をしてもらっている。	・行事への招待は行っていない。 →敬老会などに招待するなど検討していく。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>各マニュアルは策定している。</li> <li>職員には周知し訓練を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯についてはもう少し職員間で話があったいく。</li> </ul>
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震や火事・津波が起こったことを想定し毎月避難訓練を行っている。</li> </ul>	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	92	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園当初に確認を行い、職員間でも情報共有を行っている。</li> </ul>	情報シートで確認していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギーのある子については職員間で把握しトレーや食器の色を変更し明確にしている。</li> </ul>	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひと月ごとに確認している。</li> </ul>	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全便りを定期的に発行し周知している</li> </ul>	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録を付けて、再発防止に努めている。</li> <li>研修を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットを記入しているが、確認を怠っているところがあるので、確認するようにしたい。（月に1回職員会議で確認していく。）</li> </ul>
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修を受けている。</li> </ul>	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修を受けただうえで、想定できることや現在に様子を振り返りながらの話し合いを行っている。</li> </ul>		